

第2回人吉市復興計画策定委員会 議事録（要旨）

日時：R2.11.30 14:00～16:00

場所：JAくま人吉支所 2階会議室

策定委員 21名/25名 県4名 人吉市11名 事務局5名 傍聴者3名

次第	発言者	内容
2 委員長挨拶	柿本委員長	本日は、人吉市復興計画の骨子案について審議いただく。 復興計画は、被災された方々の生活再建、社会基盤の復旧をどうするということから人吉市の将来をどうしていくのかということを決める。市においても地区懇談会や市民アンケート調査をされているがそういった意見が骨子案に反映されているかということや長期的視点、もしくは広域的視点、夢のあるような視点についてもご審議頂きたい。
3 議事		
(1) 市民アンケート結果等について（暫定結果）	事務局	資料2にて市民アンケート結果（暫定値）の説明
	柿本委員長	市民アンケート結果についてご意見をお願いしたい
	委員	意見なし
(2) 人吉市復興計画骨子案について	事務局	資料4にて骨子案の説明
	柿本委員長	骨子案についての意見をお願いしたい。
	岐部委員	災害前の人吉市の住みやすさランキング、九州沖縄四国中国地方において3位（都市データパック）。県の将来ビジョンに“清流川辺川・球磨川の継承”とある。ダムで清流が担保されるなら何も言わないが有名な学者でさえ、清流はダムで担保されない、いずれ堆砂して清流は担保できない、流水型ダムを作っても5～10年後に死の川になる、と言われていた。もう少しダムによる治水について審議する必要があるのでは。私達は説明を聞く権利がある。 骨子案の基本方針に「未来への希望につながる復興」とある。これは大事なことだが将来ビジョンがない。
	柿本委員長	流水型ダムによる治水についてはこれからアセスメント等が行われ検証がなされると思う。
	岐部委員	市民としてこういった意見を言う機会がない。医師会でも流水型ダムに関するアンケートをとったが64%が反対、16%が賛成、分からないが20%あり、少なくとも20%の分からない方に説明してほしいということを策定委員会として市長を通じ県に要望して欲しい。
	佐伯委員	①「災害に強い都市基盤づくり」に③環境対策が掲げられているが方針に文面がなくイメージができなかった。④被害が甚大な地域の土

		<p>地利用も同じ。</p> <p>②歴史資料館で「植物サンプル」がたくさん被災してしまいレスキューが救出してくれた。しかし、私たちはそういう貴重なものがあることを知らなかった。魅力的な文化がたくさんあるので、それを人を呼び込むことに活用してもらえたら。歴史資料館では施設規模が小さい。</p>
事務局		<p>①確かに、文面に組み込んでいないため書きぶりに加える。環境対策のイメージは、昨今の災害が地球温暖化に起因する指摘があり、市としても温暖化対策をより強化して取り組んでいくべきではないかという視点である。</p> <p>②については担当課とも協議を行い検討させていただく。</p> <p>④については、甚大な被災があった地域、ハザードマップ等で想定される地域については土地利用の規制まではいかないにしても、安全な場所への居住誘導等の施策が必要と考えている。土地利用の在り方も含め、都市計画全体の中で住居等については検討をしていく旨を明記したいと考えている。</p>
柿本委員長		環境対策や土地利用は、ハードではなくソフト対策の方では？掲載箇所の見直しをしたほうがよい。
事務局		見直しをさせていただく。
永田委員		<p>①環境対策について：</p> <ul style="list-style-type: none"> これから新しいまちづくりを考えていくと思うが、“持続可能なまちづくり”の視点を色濃く出した方がよい。SDGSの考え方はこれから必須になる。項目も「未来につながるまちづくり」が適切かと。私達はこれからも自然と共生していかないといけない。自然を傷つけずに。 次世代を担う子ども達の環境教育について、今やっているリサイクルの推進などやっているが、そうじゃなくもっと地球規模への取り組みとしてSDGSを浸透させる環境教育が必要だと思う。ここも「未来につながるまちづくり」にかかせない事項だと思う。 子どもの発想を新しいまちづくりに取り入れてもらいたい。 「復興ビジョン」の言葉からはうまく将来ビジョンをイメージできない。子ども達がイメージできる視点をもって計画を作ってほしい。
事務局		<ul style="list-style-type: none"> SDGSの考え方、環境対策についてしっかり盛り込んでいく 子ども達の意見反映については検討をさせていただきたい。
柿本委員長		子ども達の意見の反映のさせ方として、未来トークという形で中高生からでた意見を反映させたり（益城町）。そういったものを参考に

		していただければ。
内田委員		<p>①「主な取組・施策」が今回でていないため深い議論ができない。次回はもっと中身を出していただきたい。</p> <p>②アンケート結果を見ると約半数の方が在宅避難。水害であるため床を剥いだまま冬を迎え生活環境が劣悪になる。実態の把握はどれだけでできているか。対策はどれだけとっているか。</p> <p>③地域コミュニティの被災後の実態をどれだけ調査されているか。また、自治公民館や消防団、祠、神社などについても被害実態を記載しなければいけない。非常に重要な点。市も1つ1つの再建方策を説明しなければいけないし、再建築もしっかり書き込んでほしい。</p>
告吉部長		②地域支え合いセンターにて被災者宅の巡回をしているが全体把握にはまだ至っていない。高齢者や障がい者については優先的に把握し地域包括支援センター等と冬に向けた対策を行う。
小林部長		③自治公民館の多くが被災を受けており、すでに復旧をしたところもあるが、復興基金等を活用して再建を進めていきたい。
内田委員		在宅避難者のフォロー体制について、行政はただ待っている体制じゃなくてそれぞれ話をし、その中で課題を見つけていかないと厳しい。それぞれのカルテを作るぐらいやらないと。そういった具体的な在宅避難者へ向けた対策を書き込んでほしい。
赤山委員		<p>(3)地域における防災体制づくりと一人ひとりの防災意識の向上：</p> <p>①避難しなかった方が多い現状で防災意識の向上が重要。特に高齢者の方が避難につながらなかった印象がある。気づかなかったというのもあるが、これまで大丈夫だったから（避難しなくていい）というのも多い。文面で“子ども達への防災教育に重きをおき、子どもから家族、さらに地域へと波及することで地域の防災力向上”と記載してあるが、来年の水害に向けて今重きをおくべきはそこなのか？子ども達からしっかりおじいちゃんおばあちゃんにちゃんと届くのか？。自分が避難行動を起こせば命は助かるわけだから、今大切なことは「適切に避難を予測して避難させること」。ハード対策は時間がかかるので、とにかく市民の意識を変えさせる対策が一番重要。子ども頼りでは厳しい。</p> <p>②防災無線が聞こえにくかったという課題もあるが、防災無線というハード的対策がここでは見えてこない。情報伝達の強化が一番大切では？</p>
立場課長		①今回、特に大人が避難につながらなかったことが大きな課題であり、対策としてご自身がどのタイミングで避難行動を起こすのか

		<p>という一人ひとりの避難計画（マイタイムライン）を作っていた だきたいと考えている。また、共助による避難体制の強化が必要 であり、その点を「(3) 地域における防災体制づくりと一人ひと りの防災意識の向上」にあげている。</p> <p>②防災無線など情報伝達強化は必須であり、「(4)市の防災体制の強 化 ①情報伝達手段の強化」において、戸別受信機の整備など情 報伝達の強化を計上する。</p>
	事務局	<p>避難体制へ向けてハード対策、ソフト対策が文面に混在している状 況なので、「(3) 地域における防災体制づくりと一人ひとりの防災 意識の向上 (4)市の防災体制の強化」の整理を行い、避難体制強化 に向けてハード対策はどうする、ソフト対策はどうする、といった 分かりやすい表記へ見直す</p>
	三宅委員	<p>①毎年防災訓練を、地域で持ち回りで実施しているが最近地震に 重きをおいた防災訓練となっていた。今後、特に浸水区域におい ては水害を想定した防災訓練をお願いしていきたい。</p> <p>②避難広報を積載車で今回も行ったが、なかなか避難につながら ない現状があるので、どうやったら避難に結びつくのかを消防団と しても考えたい。防災無線に関しても聞こえにくい点が以前から 課題であったので、消防団からもこの件に関し強化を要望してい く。</p>
	西委員	<p>「商工業・観光・農業・林業の再生」： 事業者への対策は書いてあるが、市民アンケートのように事業者の 方がどういう状態にあるのかが分からない。銀行としても事業者と の接点はあるが被災状況しか分からない状況である。計画を作るに あたってはしっかりリサーチしたうえで対策を書き込まないと計 画倒れになるのでは。復興への歩みは行政だけでなく、行政、民間、 団体、事業者、市民が一緒に動きをしないと社会形成されていか ない。我々も金融機関の専門性を生かして一緒になって復興をしてい きたいと思っている。事業者の現状がわかる状況が分かる資料も示 してもらいたい。</p>
	廣田部長	<p>・現状の事業者フォロー体制として相談窓口を設けている。なりわ い申請が 111 件、持続化補助金が 210 件（10 月末時点）という状 況。今後の再建を迷っている事業者が半数近くある状況である。 現在の相談件数は現在少ないが、被災証明を取られている事業所 で相談に結びついていない事業所については電話等による状況 把握に努めている。できるだけ丁寧な支援体制をとっていき たい。</p>

	<p>・行政、民間、団体、市民との連携について、国からも今回の災害に強い支援をいただいております市の12月補正予算要求において各種支援施策を盛り込んだ。観光、商業、農業。特に農業はこれまでにない甚大な被害であり被害額約80億円という状況。12月までに災害査定を終えて施策を進める。市街地については行政だけでなく中心市街地の皆様と一緒に新たなまちづくりに向けて支援体制を整えていきたい。</p>
柿本委員長	<p>事業者の復興はかなり大変。しかしこれを進めないと経済が停滞する。事業者や民間と連動した形で復興施策を進めて頂きたい。</p>
岐部委員	<p>力強い地域経済の再生を掲げているが、旅館や焼酎、飲食店を生業としている人が委員会に加わっていない。温泉や焼酎、飲食業の人この場に入ってもらえるべきでは。こういう計画が立てられることも知らないのではないか。</p>
事務局	<p>委員は定員25名で現在定員に達しているため委員としては難しいが、オブザーバーということであれば検討余地ございますので一度持ち帰らせていただき委員長と検討をさせていただきたい</p>
北副委員長	<p>観光業について、復旧については国の支援を受け着々と進んでいる。ただ、生活の面では売上がなく大変困窮されている。観光とまちづくりは両輪で進める必要がある。旅館が再開してもまちの賑わいがなければどうしようもない。家が解体された跡地に駐車場がどんどん増え人が流出していく状態は食い止めないといけない。地元の生活が成り立ってこそその観光。</p>
内田委員	<p>お考えいただきたい点 個別の支援については復興計画に記載してあるが、中心市街地を市としてどうするのかという表記がない。集約していくのかとかエリア的にここはどうするかという都市計画的な考え方とかの書き込みがないと次に進めないのでは。</p>
事務局	<p>「未来につながるまちづくり」に、市街地につながるリノベーションという項目を設けている。市民にとって大事な部分になりますので具体的にイメージできるような形で方向性をお示しさせていただきたい。</p>
小高委員	<p>①観光分野の押しが弱い。 復興で一番大事になるのは観光の再生。人が戻らないことが東北でも大きな課題となっているので、復興計画でも観光の再生を強く出された方がよい。 ②雇用にどれくらい影響があるのかの分析をしたほうがよい。事業者だけでなくそれに関わる従業員や関係業者なども含めて把握さ</p>

		れるとどれくらい経済に影響あるかが分かる。そういう部分のアンケートや切り口があったほうがよい。
	事務局	観光業の方でもすでに復興へ向けた動きがあるので、市としても連動していく必要があり計画でもしっかり書き込みをしていきたい。
	柿本委員長	①全体的に復旧計画になっている。復興の視点を押し出してください。 ②治水対策は効果が長期スパン。その間、住民はどこに住めばいいかをきちんと対策やっていないと来年も梅雨がくる。住んでいいかどうかの指針は早めにださないと住民は厳しい。 ③未来へ向けたまちづくりはしっかり方針の記載をしてください
	竹田 球磨地域振興局長	～県の復旧・復興プランの説明～ ①県の復旧・復興プランと市町村の復興計画の足並みを併せ進めて行く必要がある ②「骨子案」に対する感想 ・市が行うことを書きあげている印象。復興の主体は市民である。市民が行うこと、国県がやるべきことを書くことをしっかり書き上げて復興計画にしていきたい。県もバックアップしやすい。 ・もう少し固有名詞を使うなど具体的な書き方が必要
	柿本委員長	①県の復興プランとのすり合わせができていないと思うのでその点をしっかりすり合わせて反映できるところは反映を。 ②人吉市だけの復興計画の視点でなく、人吉球磨の中心市として、圏域をけん引するような未来ビジョンを組み込んでほしい。 ③市民の方が見やすいように、空間的に落とし込んだ分かりやすいポンチ絵的なものを作成いただきたい。住民に伝わることが大事。
	柿本委員長	他にご意見はないか。以上で審議は終了します。
		意見なし
(3)次回開催について	事務局	次回開催は、年明け1月18日14時開催でお願いしたい
(4) その他	中野委員	私が住んでいる地域はほとんどが被災しており、その場所に住めるのかと聞かれる。道幅を広くするために4m下げないといけないという話があり、そうすると土地もなくなってしまいます。そういう話が決まったら住民はものすごく不安に感じているのですぐに教えて欲しい。
	事務局	法定的なところに関しては担当である建設部としっかり協議を行

		<p>いたい。市の体制として復興局が創設される。この復興計画と合わせ、具体的な地区ごとのまちづくりの計画を練る復興まちづくり計画の策定を予定しており、その中でしっかり地域に入り、まちの現状や今後のまちのあり方を聞きながら実質的な計画書を作り実行に取り組んでいきたい。</p>
	事務局	その他にご意見はないか
	各委員	なし

16 : 00 終了